園芸メガ団地の取り組みを紹介

営農企画課

秋田県主催の園芸メガ団地生産者情報交換会が18日、秋田市で開催され、営農主体者やＪＡ、行政など約90人が参加しました。

当ＪＡの佐藤営農企画課長が、園芸メガ団地を含めた管内のねぎの販売額10億円達成に向けた取り組みを紹介し、作付面積を増反した生産者には10ａ当たり２万円の支給をしたこと、反収の向上を目指した積極的な指導巡回などの活動を説明しました。園芸メガ団地では、２つの農事組合法人と認定農業者１人、認定就農者１人の４経営体で13haを栽培しており、今年度は１月末現在で約１億5500万円まで伸ばしています。

▲活動を紹介する佐藤営農企画課長

▲規格を確認する生産者

山うど部会が目揃会を開催

山うど部会

山うど部会（桜田和浩部会長）は１月13日、平成28年度山うど出荷目揃会をシャトー赤坂で開催しました。

目揃会には生産者やＪＡ、市場関係者ら約40人が参加し、はじめに部会長が「風水害の被害が少なく、山うどの生育も順調に進んでいる。この目揃会を通して、出荷規格を再確認し、『白神山うど』の名に恥じないものを出荷してほしい」とあいさつ。今年度の販売高は１億５千万円を目指し、市場関係者は「『白神山うど』の販売を待ち望んでいる。単価は安定してきているが、さらに高く販売していくよう努力する」と話し、今後の出荷に期待を寄せていました。

パワーアップ運動成果発表大会で敢闘賞を受賞

農機課

農家訪問活動を積極的に展開し、農家組合員との絆を深め、またＪＡや農機担当者の年間の活動成果を表彰する、平成28年ＪＡ農業機械パワーアップ運動成果発表大会が、１月28日に秋田市で開催されました。

16回目を数えるこの大会では、１年間の活動の中で販売実績や整備技術、製品制約受注など優れた成績をあげたＪＡや担当者が、各メーカー表彰や部門表彰を受けました。当ＪＡはＪＡ予約受注部門において敢闘賞を受賞しました。今後も農機センターは、農家に出向く体制に力を入れ、地域に愛される農機センターづくりを目指していきます。

▲表彰された山崎農機課長（右）

▲見事優秀賞に輝いた夏井さん

スマサポコンテストで優秀賞を受賞

ＪＡ共済連秋田

全県スマイルサポーターロールプレイングコンテストが１月20日、秋田市で開催され、県内ＪＡから11人の窓口担当者が接客技術を競いました。

初開催となるこのコンテストに、当ＪＡからはのしろ東支店の夏井将俊さんが出場し、自動車共済の継続時のグレードアップをテーマにロープレを行い、見事優秀賞を受賞しました。夏井さんは「いつも通りの対応ができました。今回の受賞で窓口対応の自信がさらにつきました。今後もお客様を第一に考え、デモシートなどを使って視覚にも訴えるような提案をしていきたいです。」と話してくれました。

蟹座（6・22～7・22） ネガティブな発想をしやすい月です。暗い顔をしていると、ますます運気ダウンを招くので、注意。喜劇鑑賞が吉